

磯野書房

木林がなくなると、木がへってしまうので、酸素もへってしまう。そうなるので、動物や人間が生きこづらくなる。こ木以上木林で動物をへらすこないようにするには、どうしたらよいだろうか。

世界の陸地面積の三分の二が木林で、赤道から木林は生物多様性の宝庫である。水をつくってあげては、酸素が土を作り、水をつくってあげる。しかし、今、世界では、1年間で約4億7千万ヘクタール以上の木林が失われている。木林がなくなると、木がへってしまうので、酸素もへってしまう。そうなるので、動物や人間が生きこづらくなる。こ木以上木林で動物をへらすこないようにするには、木林のしげんをむすぶか、しなやかにして、たて田心え、確かに、木を使わなければ、生かすか、不使になる事もあるだろう。しかし、いま木林を使いつづけていると、人間が動物が生きこづらくなる。どうだろうか。右から木林のしげんをこ木以上むすび、使いたくないようにくふうすること、が大切だ。田心え。

△山山典△

EDU TOWNS DGS

世界の国々地域がかわりかして

持続可能な開発を目指すSDGs

東洋館書籍

1年間で消える世界の森の面積

約470万ヘクタール



※「Global Forest Resources Assessment 2020 (FAO)」より作成